

## 2016 年度目録委員会記録 No.11

### 第 11 回委員会

日時:2017年 3 月 18 日(土) 14 時～17 時

場所:日本図書館協会

出席:渡邊委員長、木下、河野、田代、津田、野美山、村上、横山

<事務局>磯部

#### [配布資料]

1. 刊行に向けてのメモ(4 ページ-A4、渡邊委員長)
2. 「日本目録規則 2018 年版」(仮称)関西検討集会の概要(3 ページ-A4、津田委員)
3. 用語解説 暫定リスト(21 ページ-A3、河野委員)
4. 用語解説の検討事項(1 ページ-A4、河野委員)
5. 用語解説について(1 ページ-A4、渡邊委員長)
6. 2016 年度第 10 回目録委員会記録(案)(4 ページ-A4)
7. 2016 年度第 9 回目録委員会記録(4 ページ-A4)

#### [報告事項ほか]

1. 議事録の確認  
2016 年度第 10 回目録委員会記録(案)(資料 6)について確認した。
2. 検討集会について
  - ・ 資料 1 に基づき、東京検討集会(5 月 12 日)のスケジュール等について確認した。
  - ・ 資料 2 に基づき、『図書館雑誌』掲載予定の検討集会の記録原稿の確認を来週までに行うこととなった。
3. 書誌調整連絡会議について
  - ・ 3 月 16 日に NDL 東京本館で開催された「平成 28 年度書誌調整連絡会議」について報告があった。記録は後日 NDL のウェブサイトに掲載される予定である。

#### [検討事項]

1. 用語解説について  
資料 3～5 に基づき、次のとおり検討を行った。
  - ・ エレメントであることを含めるかについては、「色彩」など入れないと不明瞭な用語にのみ含め、「～のエレメント。」とする。
  - ・ 出版者、頒布者、製作者、制作者については、体現形の属性のエレメントのほかに、

44 章の関連としてのエレメントがあり、前者は **name** がつき、後者はつかない。  
英語は **manufacturer** と **manufacturer's name** のように両方を示しておく。

- ・ 条文（主に「記録の範囲」）と用語解説の定義文は、最終的に同期が取れている必要がある。条文案も直すべきと強く推量される場合は定義文を直し、条文案と異なっていることを備考欄にメモしておく。検討の余地があると思われる場合は、定義文を直さず、修正提案は備考欄にメモしておく。
- ・ 複数の定義がある場合は、1) 2) と片カッコを使用し、2) の手前で改行する。対応する英語が異なるときは、「map<sup>1)</sup>, cartographic image<sup>2)</sup>」のように示す。
- ・ を見よ参照、をも見よ参照は、NCR87 に合わせ、を見よ参照は、「新 NCR」列に「再生時間 → 所要時間」のように入れ、英語・解説は空白にする。をも見よ参照は、解説の最後に改行して「参照：…」とする。

次回以降の委員会の予定

4月15日(土)

5月13日(土)

以上